

令和の時代も笑顔あふれる学校に！

絆を深めよう

地域と学校

※「令和」は教育長自筆

御船町「地域とともにある学校」の構想

地域学校協働活動、コミュニティ・スクール推進ビジョン

地域学校協働活動

- ・地域人材育成・郷土学習・協働防災訓練・環境整備・教科学習応援
- ・挨拶運動・交通指導・登下校の見回りなど
- ・放課後、土曜日、休日等の学習支援やスポーツ活動支援等
- ・伝統文化活動、社会奉仕貢献活動・自然体験活動・職場体験活動等

コミュニティスクール

地域学校協働本部

〔学校運営協議会〕 → 年3回有償の会議 ← 〔運営委員会〕

◆学校の運営、支援等に関する協議(熟議)を行います。
学校運営協議会委員は、教育委員会が任命します。(地域住民、保護者、地域学校協働活動推進員等)

※学校ごとに委員10人程度(有償)

◆学校と地域が組織的に連携・協働する体制(概念)。7校共同の運営委員会を開催。**地域学校協働活動推進員(コーディネーター)**は、教育委員会が委嘱し、地域と学校をつなぐ役割を果たします。必要に応じて、地域未来塾や放課後子ども教室のコーディネーターも会議に加わることができます。

※地域学校協働活動推進員(コーディネーター)(有償)学校ごとに1人程度

学校ボランティア(学校応援団)組織(無償)

PTA、公民館、自治会、消防団、民生・児童委員、老人会、商工会、観光協会、JA、体育協会、スポーツ推進委員、婦人会、交通安全協会・母の会、退職校長会、町役場など

◆学校評議員制度については、上記活動にスライドすることを踏まえ、平成30年度末で学校評議員の役割を終えることとします。

これからの地域と学校

教育長 本田恵典

平成の世の終盤に、文部科学省は上図のような教育方針を示しましたが、「地域学校協働活動」「コミュニティ・スクール」「学校運営協議会」など、保護者・地域の皆様にはなじみのないばかりに、言葉が並んでいます。

これまでも、「学校ボランティア」や「学校応援団」と呼ばれる皆様が、学校や地域において様々な活動をされており、心より感謝申し上げます。今後は、そんな皆様と学校が協議し、計画的にボランティア活動に取り組み、地域や学校の課題を協力して解決したりする仕組みを整ったということです。

各学校で協議をする皆様を「学校運営協議会委員」、地域と学校をつなぎ、他の学校と意見交換したりする役割の方を「地域学校協働活動推進員(コーディネーター)」と呼び、今後は、これまでご協力いただいた様々な活動を整理し、組織的・計画的に実施することができるよう期待しているところです。

また、PTA会員はもちろん、地域の多くの皆様に学校においていただくことが、この仕組みの何より大切な目的です。気軽に学校を訪問し、気軽に子どもたちと交流したり、教職員と談笑したりできるそんな学校を今年度も目指します。学校の敷居は高くはありません。そして、今も多くのボランティアを必要としていますし、学校も地域への貢献を一生懸命考え、実践していきます。

絆(きずな)を大切に、令和元年も、御船の教育への協力をお願い申し上げます。

学校応援団・地域応援団の活躍



力を入れます！英語教育

本年度も、小坂小・高木小が、英語教育の教育課程特例校として文部科学省の指定を受けました。両校は、低学年から特別に英語の授業を導入し、中学年からは週2時間から3時間の英語の授業を受けることとなっています。県下では、2校とも最も英語の授業時間が多い小学校となっています。日本人が最も苦手とする外国の方々のコミュニケーション力を身に付けることができるよう、御船の教育では、英語に力を入れていきます。また、令和2年度からは、全小学校で低学年からの英語教育を導入する予定です。

町では、自国の文化や伝統、国語を大切にしながら、中学3年までの英語教育の中で、日常の英会話程度が自由に話せるグローバルな児童生徒を育成しようと考えています。各ご家庭のご協力をお願いします。「家庭英語の日」のような日をつくって、起きてから寝るまで英会話で過ごすことなどはいかがでしょうか。

また、夏休みに開催されます「子ども英語劇場」も、25回目を迎えています。子どもたちが英語のみでセリフを話し、歌い、踊るといふ素晴らしい英語劇です。アメリカ、モンタナ州のミズーラ子ども劇場の若手俳優が直接指導し開催される英語劇に、ぜひ参加をお願いします。

生活習慣・学習習慣が重要！

今、御船の子どもたちが苦手なこと。それは、「十分な睡眠と自分で起きること」「宿題、提出物の徹底」「読書の習慣」「テレビやゲーム、携帯・スマホ等の計画的視聴と制限」「歯磨き、うがい、手洗い、ハンカチ携帯等の基本的生活習慣」などが挙げられます。これらのことは、子どもたちの知徳・体のバランスのとれた発達を左右する大きな要因となっています。また、これらの改善のためには、学校・家庭一体となった取り組みが必要です。

「このくらいはいいだろう」「そんなにはやましく言わなくても」「いつかはよくなるだろう」「どこの家庭もそうだろう」では、改善は望めません。どうしたら子どもたちが、心も体も健全に育つのか。今こそ、御船町のすべての学校、すべてのご家庭挙げて、同じ方向で、同じ取り組みで改善を図っていきましょう。

音楽の町！御船

平成音楽大学を擁する御船町は、文化の町、音楽の町でもあります。今は休止しています「教育フォーラム」では、これまで幼・保・小・中・高・大が連携して、各種展示とともに、演劇や音楽、遊戯やパネルディスカッション等が披露されてきました。令和2年度には、ぜひ何らかの形で音楽をメインとした催しができないか検討をしています。地震からの文化復興の旗印として、また、音楽に親しむ良い機会として教育フォーラムをとらえ、町民の皆様の協力で、手づくりの催しができたらと考えています。

快適な教育環境に！

快適な教育環境の中で子どもたちを育てることは、教職員、すべての町民の願いです。エアコンや水洗の洋式トイレの整備、校舎のメンテナンスなどは、急がなければならない喫緊の教育課題でもあります。

エアコンにつきましては、今夏の暑さ対策として、急ピッチで整備を進めています。また、洋式水洗トイレにつきましても、計画的に整備を進めていきますし、中学校のエレベーター設置も完了しました。今後も、一つ一つ着実に進めてまいりますので、不明な点がありましたら、教育委員会へ直接お尋ねください。